

ファンクション〈ウィンドウ WINDOW〉 操作説明

2020年6月版

ファンクション<ウィンドウ WINDOW>とは

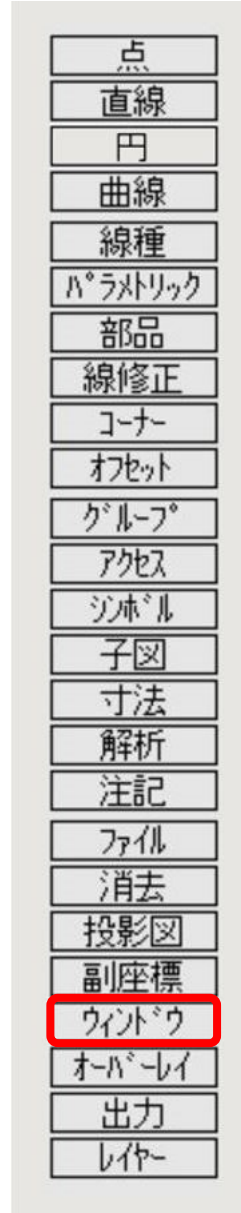
概略説明

ファンクション<ウィンドウ WINDOW>は、図面の表示サイズの変更や、表示位置の移動の他に、表示状態を記憶させたり、図面全体がウィンドウに収まるよう全体表示することができます。

表示サイズの変更や、表示位置の移動などビューイング操作はキーボードの「Ctrl」キーとマウス・ボタンの組み合わせでも行えます。

この項で学習すること

- ・要素選択による表示位置の移動
- ・表示サイズの変更（拡大・縮小）
- ・指定した範囲の拡大表示
- ・図面の全体表示
- ・表示状態の記憶

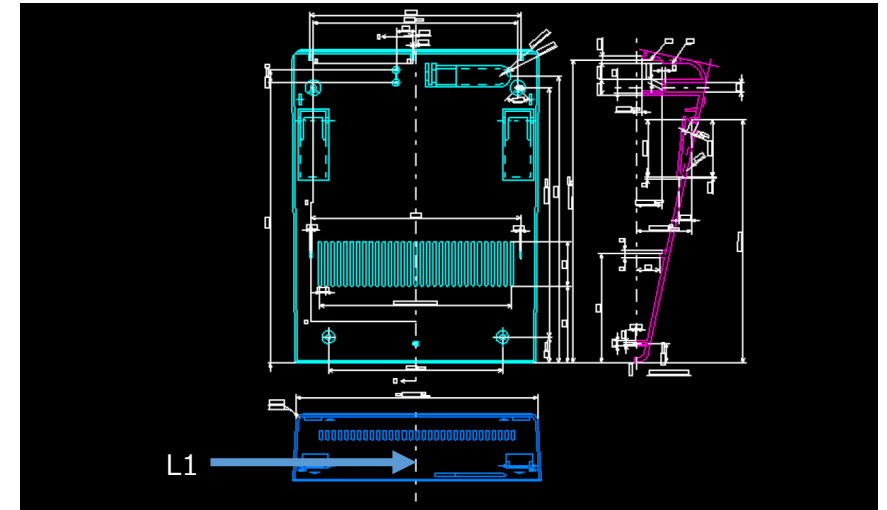


要素を選択して表示位置を移動します

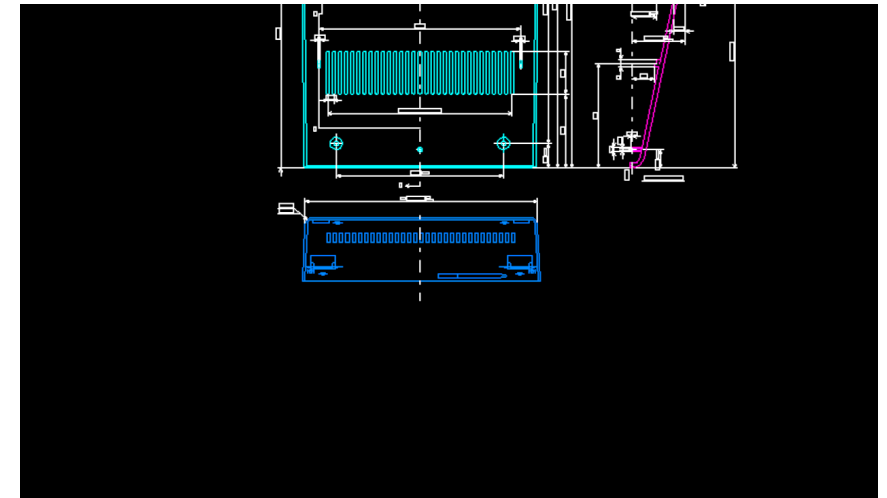
1. 図面「WINDOW_BA20」を開く [図1]
2. <ウィンドウ> 【移動】
3. L1 (中心線) をSEL

L1 の中点が画面の中央になるよう図面が移動します。 [図2]

[図1]



[図2]



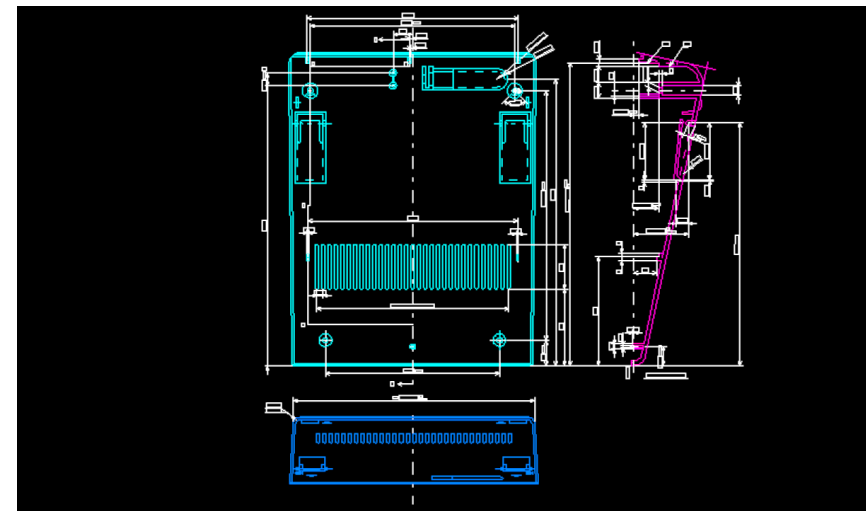
表示サイズを変更します

1. <ウィンドウ> 【A】 [図3]
2. 【サイズ】
3. ウィンドウ・サイズとして、“8”をキーイン

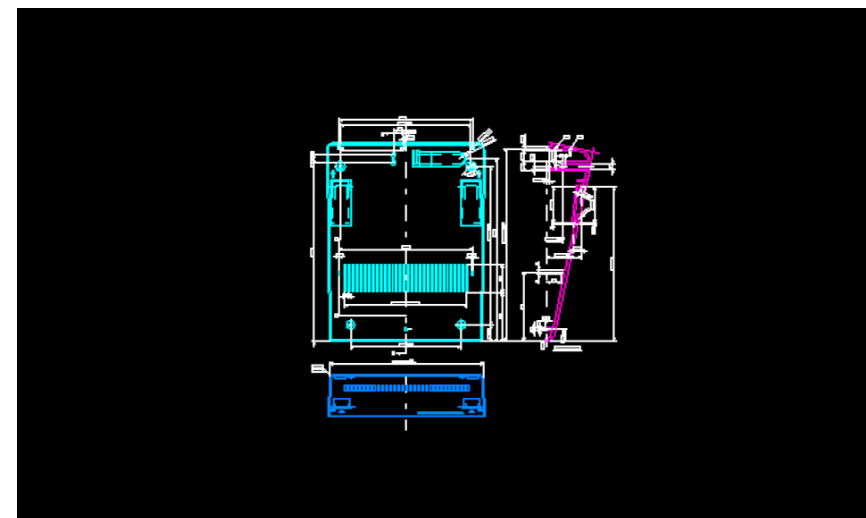
図面が縮小して表示されます。 [図4]

ウィンドウ・サイズは、1を基準として、ウィンドウ・サイズが大きくなるほど縮小率が増加し、ウィンドウ・サイズが小さくなるほど拡大率が増加します。
指定できる値は、 $0.001 \leq \text{サイズ} \leq 9999$ の範囲です。

[図3]



[図4]



図面全体を画面に表示し、枠指定で表示範囲を変更します

1. <ウィンドウ> 【全体】 [図5]

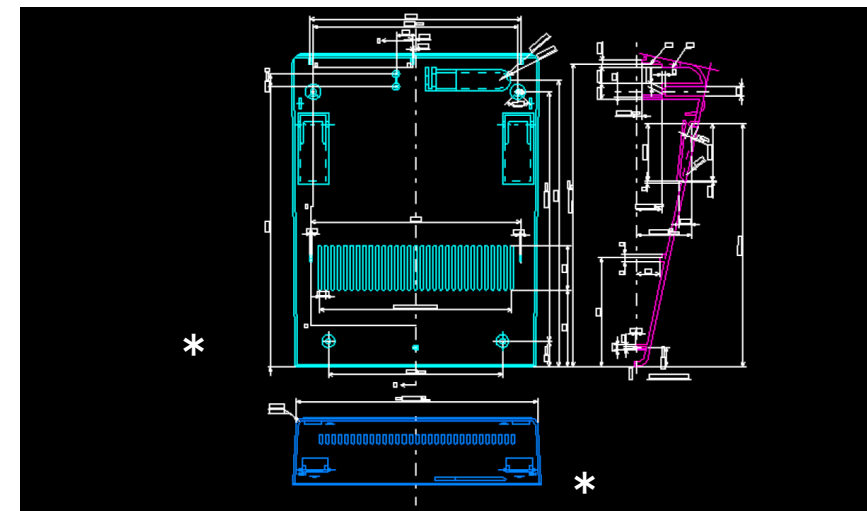
すべての要素が画面内に納まるように表示位置と表示サイズが変更されます。

2. 【枠】

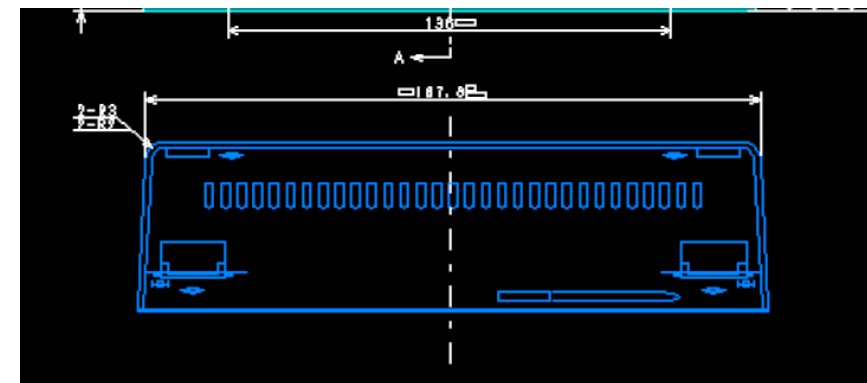
3. 表示する範囲を囲むように、対角の2点（*付近）をIND

矩形で指定した部分が画面全体に表示されるように表示位置と表示サイズが変更されます。[図6]

[図5]



[図6]



現在の画面の表示状態を記憶します

1. <ウィンドウ> 【全体】 [図7]
2. 【枠】
3. 表示する範囲を囲むように、対角の2点（*付近）をIND
4. 【設定】 【1】

メニュー /1/ に画面の表示状態が保存されます。[図8]

5. 【全体】

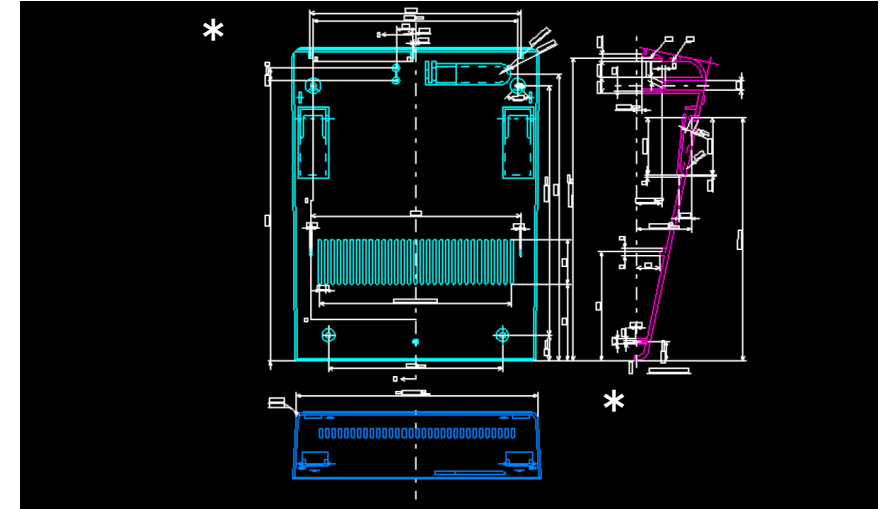
図面全体が画面内に納まるように表示されます。[図7]

6. 【1】

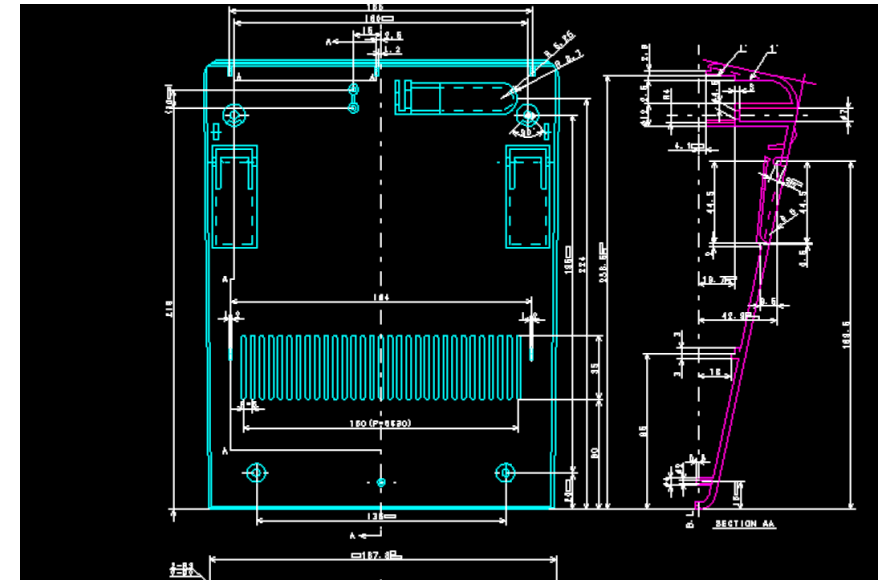
操作4. で【1】に保存した表示状態で表示されます。[図8]

メニュー【A】に画面の表示状態を保存し、図面を保存すると、図面を呼び出した時に【A】の状態が表示されます。

[図7]



[図8]





※当資料内の文章・画像・商標等（以下、「データ」）に関する著作権とその他の権利は、弊社または原作者、その他の権利者のものです。企業等が非営利目的で使用する場合、個人的な使用を目的とする場合、その他著作権法により認められている場合を除き、データは弊社、原作者、その他の権利者の許諾なく使用することはできません。

※データ等のご利用またはご利用できなかったことによって生じた損害については、弊社は一切の責任を負わないものとし、いかなる損害も補償をいたしません。

※掲載されている内容は2020年6月時点のものです。内容は、事前の予告なしに変更することがあります。

MICRO CADAM、MICRO CADAM Helix は、株式会社CAD SOLUTIONSの商標です。
他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。